



政府統計

報道関係者 各位

令和4年 11 月 24 日

【照会先】

政策統括官付参事官付世帯統計室

縦断調査管理官 笹木 義勝

室長補佐 柏木 貴久子

(担 当) 中高年者縦断統計係

(代表電話) 03-5253-1111 (内線 7594)

(直通電話) 03-3595-2323

第 17 回「中高年者縦断調査(中高年者の生活に関する継続調査)」 の結果を公表します

厚生労働省では、このほど、同じ集団を対象に毎年実施している「中高年者縦断調査(中高年者の生活に関する継続調査)」の第 17 回(令和 3 年)結果を取りまとめましたので公表します。

中高年者縦断調査は、平成 17 年 10 月末に 50～59 歳であった全国の中高年者世代の男女に対して、家族の状況、健康の状況、就業の状況などを継続的に調査し、高齢者対策などの厚生労働行政施策のための基礎資料を得ることを目的としています。第 17 回調査では、平成 17 年度の第 1 回調査から協力が得られた 16,579 人について集計しており、調査対象者の年齢は、66～75 歳となっています。

【 調査結果のポイント 】

1 健康の状況

第 1 回調査から継続して健康維持のために心がけていることについて、健康状態が「第 1 回からずっと「よい」と思っている者と「その他の変化」(第 1 回から第 17 回までに「よい」・「わるい」を繰り返している)の者を比べると、「適度な運動をする」で最も差が大きい。(4 頁 図 2)

2 第 1 回調査時(50～59 歳)に「65 歳以降仕事をしたい」と答えた者の現在の就業状況

第 1 回調査時に「65 歳以降仕事をしたい」と答えた者で、第 17 回調査時に「仕事をしている」のは、男の「66～69 歳」で 6 割以上、「70～74 歳」で 5 割以上、「75 歳」で 4 割以上、女の「66～69 歳」で 5 割以上、「70～74 歳」で約 4 割、「75 歳」で 3 割以上。(6 頁 図 4)

3 社会参加活動の状況

男女とも、社会参加活動の状況が、「趣味・教養」、「地域行事」などで減少、「スポーツ・健康」はほぼ横ばい。(6 頁 図 5)

調査結果の詳細は、別添概況をご覧ください。